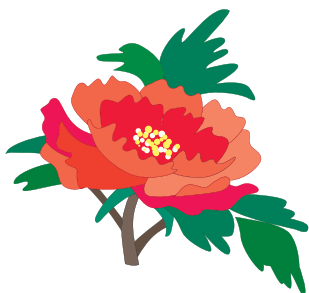


ふれあいと語らいの同窓会

東実同窓会報 No.20

発行 〒144-0051 東京都大田区西蒲田8-18-1 TEL 03-3732-4481

東京実業高校同窓会会報部
http://www.tojitsu-dosokai.com



笑う



第34期 会長 本田 位公子

皆様は「笑う門に福来たる」という言葉や意味は、既に先刻ご承知の事と存じます。

昔から「笑い」は精神的にも、健康上にも良いとされています。だから、「笑う」をテーマにした同好会まで作って活動している所もあります。今や落語もここ静かなブームになっており、テレビドラマや、映画にもなりました。毎年初笑いには、新宿や浅草の劇場へと足を運ぶお客さんが多い事も確かです。

同窓会でも昨年の東実祭には、落語家をお呼びして「エ〜一席…」と言う事になりました。

2009年1月の同窓会新年会でも、「ちょっと一席」という事で楽しみました。

昨今の世相は暗く重たいイメージではありますが、「笑い」の中には人の心を穏やかに、また豊かな気持ちにさせてくれる何かがあります。「あの方の笑顔がいいね！」なんて事も多く聞かれます。

それには若い世代の方々も「笑み」を忘れず、まず自分の周りを明るくし、自分発信の「笑う」を心がけようではありませんか。

笑顔で安心して過ごせる世の中になって欲しいと、いつも願っております。



平成20年度 同窓会定期総会 (2008.6.7 プラザ・アペア)



同窓会行事



理事長 上野 雅子

平成二十年度の同窓会親睦旅行は、以前より続いていた泊まりがけ旅行とは違って、観光バスでの日帰り旅行となりました。朝七時半に学校を出発し、向かうは静岡県大井川鉄道の蒸気機関車乗車です。鉄道マニアにとってはうれしい企画だったことでしょう。

さて、例年のことですが、今年も又バスが発車した直後からお酒の強い方々は、ビール、日本酒とおつまみで楽しく飲み始め、一時間後には後部座席は宴会場となり、本当に笑い声の絶えない和気あいの雰囲気となりました。いつも参加する方々が多いので学年の枠を越えて仲の良いのがこの学校の特長です。というより、こんなに親密な同窓会の集いをしている学校というのは他に類を見ないような気がします。それだけ会長さん始め幹事の方々がしっかりと運営をし、絆を大切にしているからだと思います。

学校も今年で創立八十六年となり、私が理事長に就任してから、すでに二十年という月日が流れました。前理

事長が健在だった頃、ほんの有志の方々に始まった親睦旅行が年中行事となり、多くの方々が参加なさり、和気あいの姿を拝見しますと、ここ迄築き上げられた先達の方々のお力をひしひしと感じます。

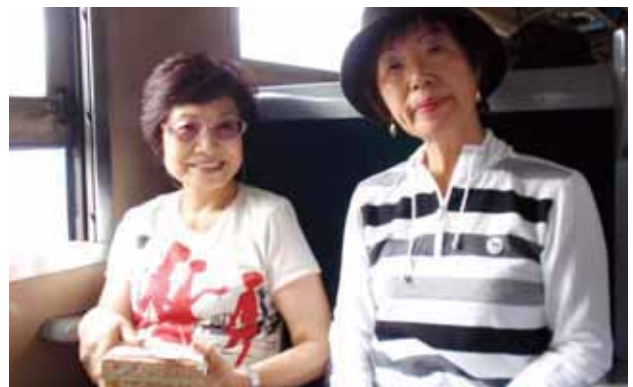
人間関係が薄れてきている現代社会において、とても貴重な絆と思う反面、参加なさって下さる方々の年代が高くなり、若い方の姿が見られないことを危惧しております。今の若い人達はクラス会などもあまり開かず、本当に仲の良い友達が数人集まっている状態のようで、これからも今の方々のようにしっかりと信頼関係が維持していけるのかちょっと心配です。願わくば多くの若者がすばらしい先輩達が集まる同窓会の新年会や総会に参加し、本当に良い人間関係が築けることを学んでほしいと心から願っております。

どうか皆様いつまでもお元気で、同窓会発展のためにこれからもお力添えをいただけますようお願い申し上げます。

同窓会行事に参加の「理事長」



平成20年度年度同窓会定期総会 (2008.6.7プラザ・アベア)



懇親旅行 (2008.9.23 大井川鉄道SL乗車)



新年会 (2009.1.31 横浜駅西口 ホテルキャメロットジャパン)

めっき材料総合商社

株式会社 三松

本 社 東京都大田区西蒲田7-57-11
 〒144-0051 TEL (03) 3733-7131 (代)
 湘南営業所 藤沢市辻堂西海岸2-14-45
 〒251-0047 TEL (0466) 34-1711 (代)
 横浜営業所 横浜市神奈川区恵比寿町7-5
 〒221-0024 TEL (045) 461-6088 (代)

第17期 村松 濱代

同窓会と東実祭と学校



学校長 上野 毅

同窓会の皆様には常日頃学校のことを気にかけていただきまして感謝にたえません。同じ学校を出たというだけの理由で心をつなげて行動していただける集まりは同窓会において他にはないと思っています。

さて、現在の学校の状況は、同窓会の皆様が過去に学んだ当時とは随分変わり、生徒の気質、心の持ち様、意欲、学校に対する熱い思いの温度差、先生の意欲、どれ一つをとっても同じものはないと思います。ただ変わらないものといえますと、学校の持つ伝統ではないでしょうか。伝統の中には、大きく二つあると思います。一つは、社会に出て役立つための学問育成を目的に学校全体が動いていること。二つ目に、学校行事の運営等に伝統というより歴史が残っています。修学旅行の方法に於いては、ある学校では集団ケンカ事件のために途中で中止にしたり、途中で変更することも多々あると聞いています。本校に於いては修学旅行の方法は、大きく変わっていないと思います。また、文化祭（東実祭）に於いても大きく変わらず、昔からの伝統を受け継いで来ました。まず東実祭一日目は、創立記念式典（毎年行っており、今年は創立86周年記念式典）を挙行し、その式典の中で教職員永年勤続表彰（10年、20年、30年、時には40年）をいたします。そして、二日目、三日目は一般公開し、展示物や模擬店を行っております。このことは皆様もよくご存じのことと思います。しかし、この同窓会会報が発行される頃までには、まだ決まっていないかもしれませんが、東実祭の記念式典以外は、平成20年度が最後になるかも

しれません。

それはどうしてかと言いますと、実に悲しいことではありますが、たわいない理由なのです。それは生徒指導上の問題なのです。本校を退学した者が、在校生の一部の生徒と連絡を取り合って東実祭の会場に入り込み、退学者同志あるいは退学者と在校生が集団でケンカをするという事件がこの数年続いており、指導部の先生がいくら防御をしても防ぎきれない状況があるということなのです。一般公開をなくして、盛り上がり欠けるかもしれませんが、在校生とその保護者のみによる合唱コンクールとか、記念講演会とか、外部団体による観劇会を行うなどに変えて、本当の文化祭のような形になるか、記念式典のみにするか、いずれにせよ歴史が変わる可能性があるということをお伝えして近況報告と致します。



平成20年度 同窓会定期総会（2008.6.7 プラザ・アペア）



学校近況報告



副校長 北井 邦寿

本校では昨年度より、生活指導の中心として「ゼロトレランス方式」を導入しました。これは、「わるいことはわるい」という考えを基本とし、校則違反を起こした生徒には厳格に処分を行い、指導をするということです。

教務部においても、上記の方式を採用しました。授業中の態度について、基本的なことができているか、教科担当からの注意を受けとめられるか、持参すべき道具、課題の提出などでできているか、など生徒の基本的姿勢を問います。それは授業に集中させ、生徒自身にとって、今、何が大切かを知らしめるためです。

また、東京実業高等学校に通学する生徒が毎日必ず行わなければならないことは、登校時間の8時40分までに、遅刻をしないで登校することです。それを徹底するべく、教務部を中心として、9時の授業開始直前まで正門で登校指導を行っています。そして下校時には制服の乱れはないか、「さようなら」という挨拶ができているかなど、下校指導を行います。

以上の事は、一人一人の教師が、生徒一人一人に対して、どう向き合うか、どう指導していくか、目標を明確にした取り組む姿勢の表現だと思えます。我々、東京実業高等学校の教職員は、生徒の退学を望みません。どのような違反を行いましても、あきらめることなく、指導を継続していきます。

次に、2学期から校内で「ペットボトルのキャップ回収」のキャンペーンを行っています。1学期に親師会理事会で提案され、世界の子どもたちにワクチンを送り、生命の危機の緩和にすこしでも役立ちたい、という思いで、生徒会、インターアクトの生徒を中心に活動しています。

スポーツのことなら!

しろかね

白銀スポーツ

ユニホーム・スポーツ用具
用品・施設・工事一般
カップ・賞品・トロフィー

〒143-0024 東京都大田区中央8-29-7

TEL(03)3754-8679 FAX(03)3754-4845

第37期 白銀 正明

各クラブの活動

*マーチングバンド部

東松山市で合宿を行い、11月8日の関東大会に臨みました。小編成の部で2位になり、全国大会の出場権を得ました。12月20日埼玉スーパーアリーナでグランプリを目指しました。結果は銀賞を受賞しました。

*陸上競技部

今年も期待に違わず、活躍しました。8月2日のインターハイで110mハードルに出場。また、11月3日の東京都高校駅伝大会では、4位に入賞し、全国高校駅伝大会の出場は逃しましたが、全国都道府県対抗駅伝大会(平成21年1月18日)に普通科3年F組星野光汰君が出場しました。安定した実力をつけつつあるように感じています。

*レスリング部

11月15日、16日に行われたフリースタイルの個人戦で6名の生徒が活躍し、1月31日、2月1日に駒沢体育館で行われた関東選抜大会に出場しました。古豪復活の序曲です。

*サッカー部

現在、第4支部(大田区、港区、千代田区、品川区など)の大会で決勝まで進み、都大会(32校)出場の権利を得ました。部員も多く年々力をつけており、全国大会を目指して生徒は日々努力しています。

教職員の異動

*新任教職員

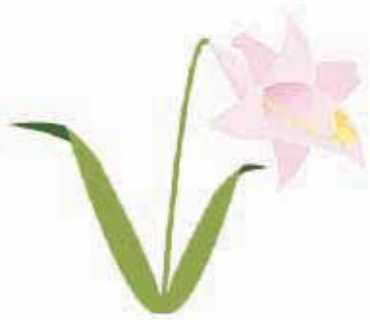
事務長 太田 耕造
用務 館 信雄

*退職教職員

事務長 松尾 高佳
用務 花田 恒彦



機械科の現況報告



機械科科长 千田 一雄

同窓会会員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。歴史ある機械科では毎年数多くの卒業生を輩出し、ご存知の通り各方面で活躍しています。

現在の機械科は1年生136名、2年生91名、3年生79名が在籍しています。担任の先生方は1年生がA組：村山隆、B組：宮地裕、C組：藤田稔、D組：岩田孝文、2年生がA組：増田修一、B組：日比野重光、C組：小野博司、3年生がA組：河野年光、B組：横田正明の各先生方です。

本年度より、CAD (computer-aided design) 室のパソコンが新しくなりました。OS (operating system) はWindows Vista Business、office2007、CADはオートデスク社のAutoCAD2008です。また、パソコン授業支援ソフトとし

て「リモコン倶楽部Z」を新しく導入いたしました。このソフトは全パソコンの起動、終了、各パソコンへの資料配布、回収などを行うことが出来ることはもちろん、各パソコンに於いて生徒が誤った操作をしてしまい、OS内のファイルが変更された場合でも、再起動することによって復元することが出来るソフトウェアです。これらの導入は、授業の円滑化に大いに役立っています。

その他にも、東実祭に於いて毎年生徒達で製作した作品を展示する「ものづくり展」を開催しております。皆さんが在学中に学んだことを思い出しながら、見学に来ていただければ幸いです。



機械科コンピュータ室



実習終了後の生徒達

— 企画・デザイン・印刷全般 —

トータルプラン株式会社

〒144-0032 東京都大田区北糀谷1-18-14
 TEL (03) 5736-3447 FAX (03) 5736-3448
 E-mail : total@wing.ocn.ne.jp

… ゆったい …

**都南ユウキ
パーキング**

〒144-0044
 東京都大田区本羽田3-23-46
 TEL・FAX 03 (3745) 0891

電気科の現況報告



2号館3階に設置している機械科・電気科共用のパソコンを一新して平成20年度4月からスタートすることができました。新規に導入したパソコンの主なスペックは次のとおりです。

OS: Windows Vista Business
CPU: Core2Duo
メモリ: 2GB
光学ドライブ: DVDスーパーマルチ
液晶モニターサイズ: 17型

また、1テーブル(2名)に1台中間モニター(17型)を設置して黒板近くにあるプロジェクター(80型)と併せて、教師用のパソコン画面を直接表示することができるので学習効果を高めています。以前までのCRT(ブラウン管)と違って液晶モニターは奥行きを小さくすることができる為、生徒用パソコンを以前の約2倍、46台を設置することができました。生徒用パソコンには電源を切って再度電源を入れると全ての設定が初期状態に戻るアプリケーションソフトを導入しましたので、メンテナンスが大変軽減されました。教師用モニターに各生徒の画面を一同に表示したり、逆にある生徒の画面を他の生徒に一斉に発信することができる管理ソフトも活用しています。教師用コンピュータ以外にサーバ用コンピュータを設置してインターネットにおけるフィルタリング管理や各生徒のファイル管理などに使用しています。



電気科科长 須賀 寛光

このコンピュータを使って2年生の電気実習では、日本語文章作成ソフト「Word2007」、表計算ソフト「Excel2007」、プレゼンテーションソフト「PowerPoint2007」を学び、3年生のプログラミング演習ではC言語を学習しています。

平成20年度「第二種電気工事士国家試験」においては念願であった技能試験で電気科2年生4名、3年生5名の9名が合格し、合格率100%を見事達成することができました。また、上級資格でもある「第一種電気工事士」の筆記試験に2年生が4名チャレンジして1名合格し、その生徒は12月7日に行なわれた技能試験にも合格することができました。2年生で第一種電気工事士合格は3年ぶりの快挙です。簡単ではありますが電気科の近況報告とさせていただきます。



「新コンピュータ室」

正しいメガネ・ファッション性あるメガネ
・医療器具でもあるメガネ。を高度の技術
でご調製しております。

株式会社 メガネの金正堂

〒231-0045
横浜市中区伊勢佐木町2-68
TEL(045)261-3418 FAX(045)261-3252

<http://www3.ocn.ne.jp/~kinshodo/>
E-mail:kinshodo@poem.ocn.ne.jp

第18期 清水 一雄

同窓会に関する各種お問い合わせ先

ホームページURL	http://www.tojitsu-dosokai.com
e-Mailアドレス	info@tojitsu-dosokai.com
学校 TEL・FAX	03-3732-4481・03-3732-4456
事務局(携帯)	080-1186-4945
	tojitsu-dosokai@docomo.ne.jp

普通科の現況報告

「文理コース」



文理コース長 関根 章道

現在、普通科文理コースは1学年83名、2学年93名、3学年103名在籍していますが、次の三点を重点課題としています。

- (1) 基礎学力の定着
- (2) 生徒たちのレベルに合った学習の展開
- (3) 大学進学へ向けた実力アップ

(1)の取り組みとして、1週間分の国語・数学・英語の定着を確認する“到達確認テスト”も4年目を迎え徐々に成果をみせてきました。このテストのため、土日に復習する生徒も増えてきています。

また、(2)については、2学年で展開している習熟度別授業(国語・数学・英語)もさらに3学年で国・英の2教科を展開し、多くの保護者からも生徒に合った学習を進めていると評価されています。

(3)についてはここ数年、懸案事項であった土曜日の取り組みについてです。

今年度から、大手予備校である城南予備校と提携を結び、年間12回3教科(国語・数学・英語)の講座を開講、スタート。受講料についても実際の予備校に通学するよりも四分の一程度に抑えて実施しています。対象はあくまで1、2年生希望者ですが、1年生30名、2年生42名と約半数の生徒が参加し、さらなる実力アップを計っています。

さらに、4年前まで実施していた学習合宿も再検討し、できるだけ早い時期に再スタートさせたいと思っています。

大学全入時代とはいえ、難関校合格が厳しくなっている状況は変わりません。ひとりでも多くの現役合格を目指し、またその質も高められるよう取り組みをさらに進めていきたいと考えています。

「ビジネスコース」



ビジネスコース長 原田 忠彦

11月1日現在の普通科ビジネスコースの生徒数は1学年183名、2学年164名、3学年174名で合計521名在籍し、本校の中で最も生徒数が多いコースとなっています。男女比も370対151と、約7対3の割合です。共学化になり、また商業科から普通科ビジネスコースになって6年が経ちました。私自身が本校の学生だった当時、別学(男子クラス・女子クラスに分かれている)の状況とは大きく違い、生徒自身が明るくのびのびとしているように感じます。

本年度には、コンピュータ室も第一、第二と新しく出来ました。現在、専任8名と講師5名の先生方が補習授業をして、簿記検定・情報処理検定等、様々な検定試験に一人でも多くの生徒が合格し、その成功体験を経験してもらおうと頑張っています。進路においては就職希望者が少なくなり、専門学校進学者が大半を占め、次いで大学進学希望者の割合となっています。これからも生徒の未来を見つめて、生徒・教職員一体となって前進していこうと思っています。



平成20年度 同窓会幹事名簿

(第84期) 平成21年3月卒業のクラス別同窓会幹事です。

各クラス2名(11クラス:22名)

クラス	担 任	幹 事
M・A	河野 年光 先生	月本 浩介 久手堅 悠矢
M・B	横田 正明 先生	◎池田 源希 高桑 滉
E・A	小川 欽也 先生	庄子 和真 井口 佑
O・A	西岡枝里子 先生	浅野目健大 北村 実熙
O・B	小島 茂 先生	岡安 千尋 清水 由香
O・C	鈴木 光男 先生	荒井 廣隆 鈴木 豊
O・D	上原 直輝 先生	小林 卓也 高橋 雄基
O・E	志賀 由直 先生	佐藤 一馬 島崎 翔太
O・F	三山 弘 先生	富岡 隆也 三浦 雲輝
O・G	金子 知美 先生	片山 誠 佐藤 志成
O・H	藤吉 大介 先生	○松本 賢志 小島 佑介

注：◎代表幹事 ○副代表幹事 学年主任=森吉男先生

●お菓子のご用命はアルベリに●

和洋菓子、クッキー、焼菓子、ギフトetc
まごころこめてお届けします。

株式会社 アルベリ

〒230-0062 横浜市鶴見区豊岡町7番14号

TEL : 045-581-5441

FAX : 045-573-6116

<http://www.alberi.co.jp>

第23期 山本 徳太郎

同窓会近況報告

平成19年度 定期総会

平成20年6月7日(土)午後3時より、「プラザ・アペア」にて定期総会が開催された。

本田会長、上野学校長の挨拶の後、本田会長が議長を務め議事討議に入った。19年度の事業報告と決算報告がなされ、引き続き当年度の事業計画並びに予算案が、満場の拍手で承認された。当年度は役員改選の年度で、副会長の天野昇・田所豊両氏が辞任し、後任には小泉耕一郎・白銀正明両氏（共に37期）が新任した。

総会后、東京高校同窓会副会長矢沢秀一氏、事務局の進藤健氏をお迎えして、懇親会が行なわれた。出席者総数107名。最高齢は17期83歳の村松濱代・六部峻・岩沢俊雄・長山幸作の諸先輩方。最低年齢は83期18歳の高野清基・松浦史典・今井隆治・高森里枝・要田美波・鈴木綾乃君達6名。その年齢差何と、65歳。大勢の中で、皆の人気を集めたのが、81期川代(旧姓 三島)夕佳君(21歳)に抱っこされた太智(たいち)君(1歳)である。元気な声が会場を圧していたし、人見知りしない可愛い笑顔に、出席者が刺激され、皆高校生の笑顔になっていた。(総務部)

定期総会式次第

- (一) 開会の辞
会長挨拶
学校長挨拶
- (二) 議事(議長選出)
議事録署名人の選出
1 平成19年度 事業報告
2 平成19年度 収支決算報告
3 平成19年度 監査報告書
4 役員改選の件
5 新会長挨拶
6 新幹事紹介(83期卒)
7 平成20年度 事業計画(案)
8 平成20年度 収支予算(案)
9 その他
- (三) 閉会の辞

平成19年度 収支決算報告書

自 平成19年4月1日
至 平成20年3月31日

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	19年度予算	19年度決算	科 目	19年度予算	19年度決算
前年度繰越金(普通)	5,254,742	5,254,742	事務消耗品費	500,000	459,362
入会金	3,650,000	3,740,000	通信連絡費	380,000	402,416
寄付金	100,000	198,000	管理費	200,000	178,521
広告費	60,000	35,000	印刷費	25,000	22,050
東実祭	200,000	200,000	会議費	500,000	518,609
受取利息	100	3,627	総会費	400,000	292,272
雑収入	0	2,000	旅行費	200,000	96,636
			新年会費	150,000	116,413
			東実祭	200,000	200,000
			会報発行費	300,000	266,300
			慶弔費	300,000	215,750
			卒業記念品費	400,000	310,233
			助成費	150,000	300,000
			寄贈品	1,500,000	1,494,675
			積立金	500,000	1,200,000
			交通費	20,000	5,180
			予備費	800,000	0
			次年度繰越金(普通)	2,739,842	3,354,952
合 計	9,264,842	9,433,369	合 計	9,264,842	9,433,369

積立金等次年度繰越金内訳 (別途会計)

金融機関名	前年度残高	増 減	利 息	本年度残高	備 考
定期預金(みずほ)	8,046,082	1,200,000	3,841	9,249,923	定期預金
定期預金(三菱東京UFJ)	10,004,800	0	9,714	10,014,514	定期預金
債券(中国ファンド)	2,224,569	△2,226,616	2,047	0	H19.6.19解約
債券(MMF)	10,953,365	2,226,616	66,158	13,246,139	債 券
合 計	31,228,816	1,200,000	81,760	32,510,576	

平成19年年度の収支報告書を監査致しました。
その結果適正且つ妥当であることを認めます。

平成20年5月14日

会計監査 笠原 忠雄 印
小島 浩 印

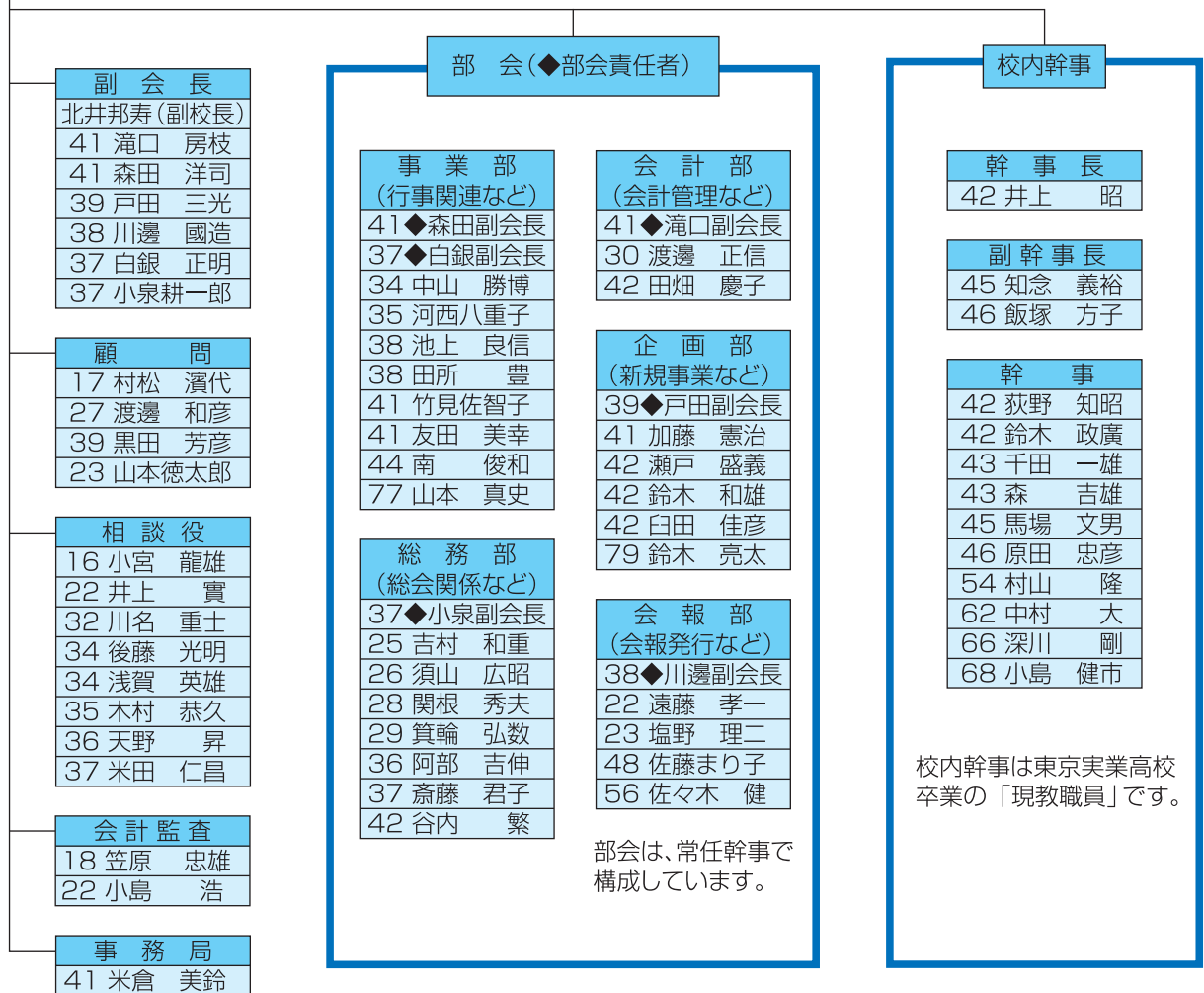


平成20年度 同窓会 組織図

名誉会長
上野 毅 (学校長)

会長
34 本田 位公子

★氏名の前の数字は「卒業年度」です。
★副会長・顧問は就任順、他の役員は卒業年度順です。



部会は、常任幹事で構成しています。

校内幹事は東京実業高校卒業の「現教職員」です。

平成20年度 事業計画書

【既に実施・開催された事業については、その内容を報告に代えさせて、いただきます】

- 【総務部】**
- 総会… (開催済)
 - ・ 総会の企画・運営・管理
 - 日時：平成20年6月7日 (土曜) 15時～
 - 場所：プラザ・アペア (蒲田駅南口)
 - 懇親会… 総会后、同会場で開催
 - 会費：3,000円

- 庶務
 - ・ 同窓会に関する庶務一般
 - ・ 会員名簿整理及び作成
 - ・ 各期同窓生に対し同窓会参加への強化
 - ・ 常任幹事拡大への強化
 - ・ 卒業アルバムの管理

- 【企画部】**
- 新規事業の企画・立案
 - ホームページ管理・企画・運営

- 【会報部】**
- 会報編集発行 (20号発行)

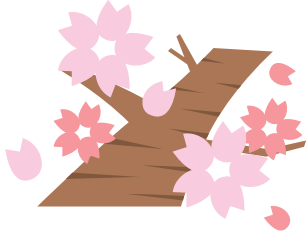
- 【事業部】**
- 旅行… (第26回目実施済)
 - ・ 旅行会の企画・運営・管理
 - 日時：平成20年9月23日 (祝日・火曜)
 - 行先：静岡県 (大井川鉄道SL乗車)
 - 会費：7,000円 参加者：36名

- 東実祭… (実施済)
 - ・ 同窓会の部屋設営管理 (卒業アルバムの展示)
 - ・ 「どら焼き」販売実施
 - 日時：平成20年11月8日 (土曜)・9日 (日曜)

- 事業… (実施済)
 - ・ 新年会の企画・運営・管理
 - 日時：平成21年1月31日 (土曜) 17時30分～
 - 会場：ホテル キャメロットジャパン (横浜駅西口)
 - 会費：7,000円

- 【会計部】**
- 年度会計管理

懇親旅行の思い出



第61期 村田 秀之

9月23日(火) 晴れ、昨日迄降っていた雨が止み、晴れ上がりました。横浜からの参加者を乗せ、首都高速に乗って、東名高速海老名PAに8時40分頃着く。途中焼津ICでトイレ休憩。渋滞により島田蓬莱橋に寄れなくなるのことで、大井川鉄道SLへ新金谷の駅より乗車、私はSLに初めて乗ります。途中、車内弁当、大井川の景色、車掌さんのハーモニカ、向かい合って座った先輩たちと会話、何度かトンネルをくぐり抜けて、下泉駅で降車、SLの発車を見送りました。

バスで川根お茶屋街道、川根お茶工房でひと休み。その後、焼津さかなセンターに寄る。私は、まぐろのみりん干しを買ってみました。

東名高速へ乗り、海老名PAへ近づく頃、ようやくカラオケ、私は朝より夕方からの方が歌えるようです。海老名PAで横浜からの参加者を降ろし、蒲田へ向かう途中、環状八号線を走っている時に感じたのですが、前に通っていた時よりバイク用品屋さんが増えて、有名な自動車のショールームの規模が小さくなっている等、時は経っているんだなと感じました。母校に着きます。

今日は、朝からお酒が飲めました。正月とか、盆休み、彼岸の時、親戚や従兄弟(姉妹)等が集って過ごす時は飲みます。お酒は、出されている時は、飲まないで過ごさずらいものなのですね。飲んでから調子がついていきました。今日は、SLに乗ってみたのが良かったです。



懇親旅行のあゆみ

(昭和58年～平成20年 26回実施)

回数	年次	場 所
第26	平成20	静岡大井川鉄道SL乗車
第25	平成19	中伊豆湯ヶ島温泉(白壁荘)
第24	平成18	群馬水上温泉(松の井ホテル)
第23	平成17	雲仙・長崎ハウステンボス(富貴屋)
第22	平成16	栃木湯西川温泉(花と華)
第21	平成15	山梨下部温泉(下部ホテル)
第20	平成14	東伊豆熱川温泉(熱川グリーンホテル粹光)
第19	平成13	群馬四万温泉(やまぐち館)
第18	平成12	西伊豆土肥温泉(桂川シーサイドホテル)
第17	平成11	奥飛騨(新平湯温泉なかだ)
第16	平成10	茨城大子温泉(奥久慈グランドホテル)
第15	平成9	東伊豆熱川温泉(セタスロイヤル)
第14	平成8	福島芦ノ牧温泉(芦ノ牧グランドホテル)
第13	平成7	伊豆稲取(赤尾ホテル)
第12	平成6	山梨(トロン温泉)
第11	平成5	越後湯沢(NASPAニューオオタニ)
第10	平成4	箱根(湯元ホテル)
第9	平成3	熱海(山木旅館)
第8	平成2	熱海(ホテルサン三橋)
第7	平成元	湯河原(南明園)
第6	昭和63	湯河原(万葉荘)
第5	昭和62	山中湖学寮
第4	昭和61	山中湖学寮
第3	昭和60	山中湖学寮
第2	昭和59	山中湖学寮
第1	昭和58	山中湖学寮

◆第26回は日帰り旅行、第1回～第25回1泊2日の旅行です。

新年会のあゆみ

(昭和57年～平成21年 28回実施)

学校年次	年次	月	場 所
88	平成21	1月	横浜駅西口ホテルキャメロットジャパン
87	平成20	1月	横浜駅西口ホテルキャメロットジャパン
86	平成19	1月	重慶飯店別館ローズホテル横浜(※5)
85	平成18	1月	川崎日航ホテル(※4)
84	平成17	1月	品川 プリンズホテル(※3)
83	平成16	1月	新横浜 国際ホテル南館(※2)
82	平成15	1月	品川 パシフィックホテル(※1)
81	平成14	1月	品川 パシフィックホテル
80	平成13	1月	新横浜 フジビューホテル
79	平成12	1月	新横浜 フジビューホテル
78	平成11	1月	川崎駅ビル8階 カメリアホール
77	平成10	1月	川崎駅ビル8階 カメリアホール
76	平成9	1月	川崎駅ビル8階 カメリアホール
75	平成8	1月	川崎駅ビル8階 カメリアホール
74	平成7	1月	川崎駅ビル8階 カメリアホール
73	平成6	1月	川崎 日航ホテル
72	平成5	1月	蒲田 ステーションホール
71	平成4	1月	横浜 ブリーズベイホテル
70	平成3	1月	銀座 サッポロスターホール
69	平成2	1月	銀座 サッポロスターホール
68	平成元	1月	銀座 サッポロスターホール
67	昭和63	1月	銀座 ライオンスターホール
66	昭和62	1月	銀座 ライオンスターホール
65	昭和61	1月	銀座 ライオンスターホール
64	昭和60	1月	蒲田 弘城
63	昭和59	1月	武蔵新田 喜久美
62	昭和58	1月	蒲田 満平
61	昭和57	1月	蒲田 太子苑

◆「※1～※5」の5年間は、親師会・桜美会との合同開催です。

インターアクトクラブ部の活動報告



インターアクトクラブ部顧問
鈴木 光男



本校初の校内献血が実施されたのは1964年、ちょうど東京オリンピック大会が開催された年です。この年、生徒献血協力者は441名でした。2008年11月19日には、3年生41名が協力してくれました。この結果、この44年間の間に、実に16,564名の卒業生の協力により、多数の尊い人命が救われたと自負しております。この業績が讃えられ、1981年には、当時の美智子妃殿下より鈴木一男君が東京実業高等学校の代表として名誉ある感謝状を戴きました。

4年後の1968年10月12日、この校内献血をきっかけに東京実業高等学校インターアクトクラブが東京大森ロータリークラブのスポンサーのもと創立しました。当時の顧問が山口敏雄先生。定年になられるまで、「継続は力なり」という素晴らしい言葉を実践させるべく「奉仕活動と国際理解」に部員達と共に尽力されました。創立した年の卒業生、初代インターアクトクラブの同期生には本校同窓会幹事としてご活躍の南 俊和（44期）さんがおられます。以来、2009年3月には301名となるクラブ同窓生を送り出すこととなります。実に40年間で沢山のボランティア活動に貢献されてこられた同窓生がいることに胸が熱くなります。

1981年8月には初の年次大会が開催され、昨年、2007年8月、第27回年次大会が本校で実施されました。第1回目は東京2750地区から6校の参加でしたが、次第に増え、今年の年次大会では12校に増えました。この間、1986年8月に‘86 国際平和年(今こそ平和を若者の手で)、1991年8月(広める奉仕・深める友情)、1996年8月(美しい環境を求めて)、2007年8月「より良き環境を目指して」(副題「これでいいのか、廃棄物!」)というスローガンを掲げ、過去4回にわたり、我が校が幹事校に選ばれました。特に一昨年は、本校から徒歩10分の所にある「大田区民センター」で、東京大森ロータリークラブ、東京田園調布緑ロータリークラブの支援のもとに開催、懇親会の会場は本校のテニスコートで盛大に実施されました。そして、本校インターアクトクラブの同窓生、及び山口先生が、ボランティア活動として協力をしてくれました。

さて、クラブとしての活動内容は、40年間共通して、募金活動、多摩川清掃、献血、入試の手伝い、障害者施設のお祭りの手伝い、わんぱく相撲大田区大会の手伝い、上野動物園迷子相談活動等です。

これからもインターアクトクラブの活動は続きます。今後とも、ご支援ご協力をお願い致します。



生徒会報告

生徒会会長(一年生)
黒沢 日成子



私達生徒会執行部は一年生五名、二年生十名の計十五名で活動しています。主に体育祭や東実祭、先生と生徒の懇談会、三年生を送る会、新入生歓迎会の主催や生徒会誌『蒲公英』、『together』の発行を行なっています。

今年度は、体育祭の企画に携わり、生徒会の考えた新種目が採用されました。また、今年度は体育祭会場が変更になり、私達にとって意味のある行事の一つになりました。

他にも生徒会執行部では、姉妹校である東京高校との交流も行なっています。私達はお互いの生徒会活動をより良いものにするため、定期的に行う会議で意見を出し合っています。その一環として、「NHKスタジオパーク」の見学や合同合宿にも取り組みました。また、昨年校長先生の提案でボランティア活動を始めました。これはペットボトルのキャップを集めてワクチンに替え、病気の人々を救うことができるという運動です。活動参加の呼び掛けや、キャンペーンなどを先生方、インターアクトクラブの方々と協力して行なっています。

同窓会のみならず、これからも生徒の一人一人が有意義な学校生活を送れるよう、執行部一同全力を尽くして活動していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。



UNO CO.LTD.

ビジュアルプランニングのパートナー
写真の撮影・編集・印刷・製本まで

有限会社 ウーノ 03-3871-3448
110-0003 東京都台東区根岸3-1-11

親師会 福田 真

▲▼ 同期会だより ▲▼

卒業後60年の 同期会



第23期 宮島 昭五郎

第23期同期会は、毎年6月に開催する。この他、母校訪問や一泊旅行に出掛ける。昨年の定例会は、卒業後60年に当たる。13名の元気な顔が揃い、楽しく過ごした。

定例会は、挨拶・乾杯の後、母校近況・欠席者消息・出席者近況等を終え、食事とともに在校時代の思い出に花を咲かす。これにカラオケ・詩吟も加わり、盛り上がる。そして、ハーモニカの演奏による校歌斉唱をし、手締めで閉会となる。3時間がまたたく間である。そして、会后、プロ及びセミプロの2名より、記念写真が届く。

私たちは、戦中戦後の激動期に、学校生活を過ごした。軍事教練の実施、商業から工業への転換、工場への勤労働員等を経験した。加えて戦後復校した時は、家も学校も戦災で焼失していた。そして、旧制中学最後の卒業生となったのである。国も社会も家も、貧しかった。

それだけに、母校への愛着と同期生間の連帯感が、強いといえよう。今後も、同期会を楽しんでいきたい。

【付記】一昨年秋、同期会一同で東実祭に参加をした。その折、同窓会室で「東実タイムズ」を拝見した。同紙は、戦後新発足した生徒会の新聞部により創刊したもので、懐かしかった。また、私は、大学卒業後会社勤務のかたわら、母校定時制の教職についた。昭和28年から、丁度10年間である。その当時生徒諸君の向学心に燃えた眼差しは、現在にも受け継がれていることを、東実祭の折に感じた。なお、集合写真は途中退席する人がいたので、早めに撮った。従って、遅く来た2名が入っていない。

半世紀の時を 越えて



第37期 小泉耕一郎

10月17日～18日に第37期機械科C組のクラス会が恩師の菊池先生をお迎えして、同級生8名が集い熱海で行なわれた。

前もって幹事の天羽君からの通知で、熱海駅改札口前が集合場所と承知していたが、何分にも卒業以来47年ぶりの再会であり、果たして指定された集合場所で旧友を見つかることができるだろうかと不安を抱えながら定刻15分前に熱海駅に到着した。

数分後、先着していた旧友に会うことができ、ほっと胸をなでおろしたものである。

ほどなく会場である「リゾートピア熱海」にたどり着き、浴衣に着替えてから、眼下に海を臨む温泉に入った後、しばらくして宴会が行なわれた。

宴会では、近況報告や学生時代の思い出話、写真撮影をはじめ、先生がクラス会を詠んだ短歌（文末に記載）が披露されたりして、大いに盛り上がった宴であった。

やがて宴会が終わるまでには、酔うほどに約半世紀の時を越えてよみがえり、すっかり時の空間を埋めてしまった。引続き、2次会ではカラオケで各自が自慢ののどを披露したり、談笑したり、夜の更けるのを忘れて、終始にぎやかに過ごすことができた。

翌朝に再会を約して、余韻に浸りつつ帰路に着いた。長年の時間的空間を越えて、打ち解けあい、飾り気のない雰囲気で見ることができ、これこそが学友たちの暖かさであると、改めて痛感した2日間であった。

「東実の まなびやしのぶ クラス会

超えきし道に 命濃く見ゆ」（菊池 篤先生）



出席者一同（2008年6月）



第37期3MCクラス会出席者一同（2008年10月）

今回の同期会を 振り返って

第78期 中嶋 哲也



はじめに

2008年10月12日（日）に東京実業高等学校で78期生の同期会が開催された。今回の同期会は卒業前から開催が予定されていたものであり、この同期会開催にあたり卒業前の各クラスの幹事¹や当時の担任の先生方を中心に準備が進められ当日の開催に至った。そこで本稿において準備から開催までの経緯や今回の反省点などを挙げて同期会を顧みたいと思う。

i. 準備と当日のスケジュール

今回の同期会の準備にあたっては、まずは2008年元旦に遡る。学年主任であった知念先生から各クラスの幹事宛に年賀状が送付され、新年の挨拶と10月の同期会の連絡等が記されてあった。この年賀状は知念先生の直筆の年賀状で誠に達筆であり、この年賀状と共に小生の本年が始まったことが思い出される。

そして同年の春以降幾度か幹事が母校の会議室²に集まり今後のスケジュールや同期会の当日の企画が話し合われた。当初から決まっていたのは①体育館でクラス対抗のスポーツを行い、②その後食堂で軽く食事をとり、③そして解散。もしくはクラス毎に夕食へ行く、というものであった。幹事の皆で話し合いを重ねた結果、当日は下記の表1のようなスケジュールで行うようになった。

表1 同期会当日のスケジュール

時間	内容	備考
12:30	母校の会議室に集合	
13:00～ 16:00頃	体育館でクラス対抗 バレーボール	写真撮影。
16:00頃～ 17:00	食堂で軽飲食	同窓会役員の方々からスピーチを頂く
17:00以降	解散or盃を交わす	蒲田

バレーボールの結果は電気科のチームがチームワークと個々の運動神経の良さを発揮し、全試合勝利で他を圧倒し優勝。先生方もチームを作りOBたちとバレーボールの試合を行ったのだが、その先生チームもチームワーク(?)を存分に発揮し第二位と健闘した。そして三位に小生も含む普通科B組チームが滑り込む結果となった。

ii. 改善すべき点

このように実施した同期会には数多くの改善点も浮かび上がった。第一に、同期会の準備にクラスをまとめるべき幹事の参加者が少なすぎたという点だ。常時、準備に参加出来た幹事は全体の12パーセントである。これは一つに卒業から5年という歳月が経っていることに起因すると思われる。なぜなら5年も経つと自立するため引越し等で連絡がつかなくなるし、忙しい社会人は日曜日も出勤している場合も少なくないと予想されるからである。

第二に、これは第一の改善点の結果として生じたことであるが、同期会の参加者が思いのほか少なかった点である。クラスをまとめるべき幹事が不在であると、必然的にそのクラスの参加者が少なくなる傾向がある。在学時のクラスの誰も同期会に参加していないと、「うちのクラスは誰も参加しないみたいだし俺も行かないでおこう」といった心理が働くからである。

よって(もしも)今後後輩の方々が、同様の同期会を開催するならば、①卒業後1～2年以内に開催すること、②引越し等で連絡先が変更になる者は各クラスの幹事に必ず一報すること、の2点を同期会を成功させるための注意事項として強く提案したい。

もっとも以上のような改善点は今回準備を担当した幹事の力不足、特に代表の小生の力不足と言うことも出来、それは反省として次回に生かしたいと思う。

iii. 結び

前項でまとめた通り、数多くの改善点が浮かび上がった今回の同期会であったが、それでもこの同期会を終えられたことは幹事の皆とフォローして下さった先生方によるところが大きい。

主に業務に携わったのは以下の幹事である。機械科・福田雄司、電気科・塚田晴彦、大井川至、商業科・伊藤瞬、普通科・嶋一之、小生。特に塚田、大井川、伊藤の三君はそれぞれクラスから手伝ってくれる同輩を呼んでくれ、大いに働いてくれた。そして嶋君は夏の間、野村先生から助言をもらい、同期会開催案内の往復葉書を作り、住所の打ちこみから印刷までして全生徒分の往復葉書を投函してくれたのである。彼ら同輩には本当に感謝している。先生方は当時の担任の田中保弘先生、知念義裕先生、上原直輝先生、小島茂先生³、藤吉大介先生⁴を中心に助言をもらいながら準備がすすめられた。

1 幹事は各クラス2名が卒業前に選出されていた。全クラスでは総計22名に上る。

2 会議室は小生が3年次当時は例外的に普通科3年B組の教室として利用されていた。が、今ではその名の通り会議室として機能しているようである。

3 小島茂先生は商業科3年C組の担任であり、既婚。聞

くところによればクラスの兄貴的存在(らしい)。あと少し細くなればジャニーズにいてもおかしくない美男子。

4 藤吉大介先生は普通科3年B組の担任であり、既婚。担当教科は英語であり、英語が得意。ただし、藤吉先生には絵心という概念が存在しないというほど絵を描くのが苦手である(断定)。



健康のために 歩きましょう



第2代同窓会長
第17期 村松 濱代

私は平成6年頃まで、ゴルフを約30年程趣味として楽しんで参りましたが、右手の親指の付け根に力が入らなくなり、スコアが纏らなくなりはじめ、楽しみだったゴルフで逆にストレスが溜まるようになりました。そこで、思い切ってゴルフを止める決心をし、運動不足になるのを防ぐ為にウォーキングを始めることにしました。

早速書店に行き近郊のウォーキングガイドの本を買い日曜祭日には近いところから順次名所旧跡や観光地を只管歩き始めました。

町を歩いていると、今までのように車上から見ていた視野とは全く違った景色があることに気が付くと同時に色々な物事を発見しました。歩きながらよその家の庭先の草花や植木の花を見ていると、四季の移り変わりを素早く感じたり、或いは一週間ぐらいの短い期間でも樹々や花の生命が忙しく変わってゆく様々を、眼で見たり匂いで感じたり今まで観たことのない別の世界が見えてきたように感じるようになりました。

一年位の間は、日曜祭日は近郊を歩き回っておりまし

たが、或る日日本橋の橋のたもとを通りかかった時に、日本国の道路元標の石が埋められてあるのを発見し、その脇に里程標が石に刻み込まれてありました。

それによりますと、日本橋から横浜市まで9km、甲府市131km、名古屋市370km、京都市503km、大阪市550km、下関市1076km、鹿児島市1469km、と刻まれてありました。

その里程標を見ているうちに、近郊を歩いているのも最近物足りなさを感じていたせいかわ、旧街道を歩いてみたくなりました。

日本の歴史、昔の建築様式や生活の様子、先祖の時代の旅人の苦労や旅に対しての諸々の考え方などを知る意味でも、自然を楽しみ自然と闘いながら歩き、大空の下で自分の存在を嘯みしめ或いは楽しむこともこれから先に残された僅かな人生の生き甲斐として、遣り甲斐のある面白いことではないかと考えました。

そのような思いから、平成7年から次のような街道や旧跡を歩きだしました。

● 歩いた街道の記録(平成7年7月~平成18年10月) ●

行先	日数(日)	歩数(歩)	距離(km)	行先	日数(日)	歩数(歩)	距離(km)
1 東海道	24	830,700	540	25 富士山麓一周	6	259,000	170
2 中山道	22	847,700	551	26 田沢湖周辺	2	75,700	49
3 善光寺街道	6	251,600	164	27 奥州街道	8	296,900	193
4 伊豆半島外周	11	405,900	264	28 伊豆半島一周	11	389,100	253
5 伊豆天城越え	3	122,700	80	29 猪苗代湖一周	4	85,800	60
6 日光街道	6	256,000	166	30 五浦・勿来方面	2	72,400	50
7 甲州街道	8	323,300	210	31 三浦半島一周	3	115,400	75
8 伊勢街道	4	129,900	84	32 富士山ウォーク	3	112,400	72
9 青梅街道	6	206,400	134	33 白糸の滝	1	14,500	10
10 成田街道	3	97,100	63	34 足利市内	2	41,900	28
11 水戸街道	5	173,900	113	35 薩田峠近辺	4	123,800	81
12 例幣使街道	4	183,800	120	36 古河花股	2	67,300	47
13 房総半島外周	14	564,200	367	37 東京ウォーク	3	113,700	80
14 多摩川左岸	4	137,500	90	38 身延山近辺	2	47,100	31
15 大山街道	2	85,100	55	39 平泉中尊寺	3	77,500	51
16 浜名湖一周	3	118,700	77	40 東松山近辺	3	118,100	82
17 伊豆大島一周	2	76,100	50	41 奈良	3	82,900	54
18 鶴見川源泉	3	62,800	41	42 東京スリーデ	2	75,300	49
19 霞ヶ浦一周	5	192,300	125	43 河口湖一周	3	26,600	17
20 松崎・雲見周辺	3	62,300	42	44 鋸山	2	15,700	10
21 掛川・森周辺	2	62,000	40	45 寸又峡	2	27,600	18
22 諏訪湖二周	2	55,500	36	46 成田山周辺	2	48,200	31
23 中山道京都より	22	948,000	617	47 奥の細道	90	2,936,100	2,055
24 御前崎・相良	2	72,100	47	合計(歩数・距離)		11,375,200	7,394

● 奥の細道を歩いた道順 ●

奥の細道の行程は、南千住から出発し、幸手、小山、宇都宮、喜連川、白河の関、須賀川、郡山、二本松、福島、飯坂温泉、白石、船岡、南仙台、仙台駅、多賀城、末の松山、本塩釜、松島海岸、瑞巖寺、陸前赤井、柳津大橋、登米、花泉、一ノ関、平泉、中尊寺、毛越寺、巖美溪、祥雲寺、追街道、栗駒、上の目駅、鳴子温泉、封人の家、赤倉温泉、山刀伐峠、尾花沢、東根温泉、押切川、天童、立石寺、大石田、最上川、猿根沢峠、新庄駅、古口、草薙温泉、清川、羽黒山、鶴岡駅、酒田、吹浦、十六羅漢、象潟、(芭蕉が歩いた最北端、此処から日本海岸を通り岐阜の大垣に行く) 酒田大橋、湯の浜温泉、波渡崎、温

海温泉、弁天島、村上駅、瀬波、乙宝寺、新発田、新潟、巻駅、弥彦神社、寺泊、出雲崎、柏崎、柿崎、直江津、高田、能生、糸魚川、親不知、市振、泊駅、魚津、富山、岩瀬、滑川、高岡、石動、俱利伽羅峠、金沢、松任、那谷寺、山代温泉、山中温泉、大聖寺、丸岡、永平寺、福井、武生、木の芽峠、敦賀、伊吹、関ヶ原、結びの地大垣、へと22回東京に戻り二本の足で歩きました。

上記私が歩いた所は詳しい資料を記録してありますので、同窓の方で歩いて見ようと思う方は遠慮なくご相談下さい。
自宅電話 03-3721-2303



川崎市との協定書を手にする市川会長

仮設設備設置し 避難者に災害情報

市と災害協定締結した
川崎通信設備連絡協

川崎市通信設備連絡協議会(市川達雄会長)が川崎市と締結した「災害時における通信設備等の整備協力に関する協定」は、避難施設に衛星放送や公共施設に仮設衛星アンテナやテレビを設置して被災者に災害情報を提供するなどの内容で、通信設備業団体と自治体としての新潟県中越沖地震の災害協定締結は全国的にも少なく、神奈川県内では初めてとなる。

協定では、川崎市の要請により避難施設となっている公立学校などへの仮設衛星アンテナ・テレビの設置や、仮設一般電話機の供給と防災無線・無線放送・自動火災報知設備・電話設備の復旧を行うほか、災害対策本部

同協議会は、川崎市電気通信設備協会(今村勝博会長)と川崎音響設備工業会(市川達雄会長)、川崎自動車火災報知機協会(佐藤昭雄会長)、川崎共聴会(野口哲雄会長)の4団体延べ73社で構成している。

第四一期・市川達雄氏が会長を務める「川崎市通信設備連絡協議会」と川崎市が「災害により地上放送の受信が不能となった避難施設等に、衛星放送の受信機材や電話機を整備・供給して、被災者が最新の災害情報を得られるよう整備するほか、その他、加盟業者が持つ専門的な通信設備に関しても、併せて整備する防災協力の協定」を締結しました。

2008年9月20日付 建通新聞(神奈川) 掲載記事抜粋

●● 楽しい室内空間作りのお手伝い ●●

インテリア 遠藤商店

〒146-0085
東京都大田区久が原3-34-12
TEL (03) 3752-3027 FAX (03) 3752-3359

第22期 遠藤 孝一

美しい日本語を大切に

株式会社 佐々木印刷所

☎146-0095
東京都大田区多摩川1丁目18番5号
TEL.03-3758-0710
FAX.03-3758-2821

第56期 佐々木 健



私達18期生と 「ヘン」な学校



第18期 松本 勇

私達は昭和17年12月卒業の18期生です。82歳～83歳です。

本当は昭和18年3月の卒業でしたが、戦争が激しくなつての繰上げ卒業です。たしか私達より一年下の19期のクラスは、昭和18年9月の卒業だったはずです。

でもまあ我々18期・19期は、まだいい方でした。制服も黒のサージの詰襟で、帽子も「ジャバラ」を巻いた丸帽です。二年下のクラスは、国防色の折襟で「スフ」の制服、戦闘帽に変わりました。

そして戦争の時代になりました。支那事変、大東亜戦争。始めのうちは、連戦連勝で、「それいけ、それいけ、バンバンザイ」でしたが、ミッドウエーで空母がやられ、優秀なパイロットを失い、連合艦隊司令長官の山本五十六大將が戦死。学徒出陣。サイパン島の全滅。神風特攻隊。B29の東京大空襲。広島、長崎の原子爆弾。ソ連の参戦。それで、わが神国日本もついに、バンザイ（両手を上げて「まいりました」）です。

それにしても、「欲しがりません。勝つまでは」、「パーマネットはやめましょう」の戦時中（昭和13～18年）の、わが東京実業学校は、「ヘン」な学校でした。なにが“ヘン”なのかと申しますと、クラスの名前が“ヘン”です。昭和13年入学の私達18期のクラス名は、「信組・勤組・仁組」でした。たしか一年先輩のクラスは、「忠組・孝組」でした。それがですよ、戦争が激しくなり、「英語はダメ」、「日本語をつかえ」の時代になりました。ところが、我校は「信・勤・仁・忠・孝」をやめて、「A組・B組・C組」になおしました。「ヘン」ですね。更に、明治大学から英語の先生を招いて、英会話が始まりました。This is a pen から Hello good morning に、なりました。まったく「ヘン」な学校です。



剣道班

もう一つ変わっているのが、「組わけ」です。今も一部やっているそうですが、60年も前から、「習熟度クラス編成」です。勉強のできる者はA組。中ぐらいの者はB組。分数や小数点になるとよく解らない者が、いるのがC組です。カバンを肩から引っかけて、上衣の第5ボタンをはずして（どうして第5ボタンなのか今でもわかりませんが）帽子をアミダにかぶってイカスのが、C組スタイルです。でもC組にも、画（ポスター）、体操（鉄棒、大車輪）、武道（剣道、弓道、銃剣道）などには、優秀な者もいました。特に富士の裾野での軍事訓練や、他校（荏原中学、高輪中学）との「ケンカ」となれば、それこそC組の出番です。

先生にも「かわった」先生がおりました。

<歴史の粕谷先生>

地球のなりたちから現代史まで5年間で習いました。「イザナギの命（みこと）が、妻のイザナミの命（みこと）に会いたくて、黄泉（よみ）の国に行った話」。「大國主神は色男で、スケベエだった話」。「血盟団、5・15、2・26事件の話」。廊下の窓を閉めさせて、話がもれないようにして話した「東條内閣は、東條幕府であり、打倒すべきである」という話。「十字軍の兵士が遠征に出る際に、妻が不倫をしないようにとの鉄の貞操帯の話」。おもしろかったなあ～。

<簿記の池田先生（カメレオン）>

授業のたびに、日本銀行の数字、ナントカ銀行の数字、ナントカ会社の数字と、なん種類もの数字を書かされました。おかげで、どこにいても数字の書き方は褒められました。

<教練の宮野要先生（准尉、マントク）>

怖かったですね。騎兵隊出身でした。校長の熊蔵先生に大変かわいがられて、戦後、熊蔵先生が亡くなる二日前に宮野先生も亡くなり、熊蔵先生の死出の先導をお努めになられました。

<三科教官殿（小尉～中尉、近衛10部隊）>

おしゃれな青年将校で、奇異な軍帽をかぶり、軍刀を銀の鎖で吊るし、颯そうと歩む姿は、我々の憧れの的でした。もう90歳以上になられたはずですが、お元気でしようか。



「私の回顧録」



第18期 坂本 光三
(ペンネーム 祥久)

【同期の松本勇氏の回顧録（私達18期生と「へん」な学校）を拝読して、同氏に宛てた手紙より】

前略 何故か春です、空覚東なき春の空です、梅の花咲き、そして散る。花咲く、寒さと別れる春、心浮かれる春、希望の春です。

其の後、御変り御座居ませんか。随分と御元気な事、小生、羨ましく思っています。

さて、「松本勇 回顧録」有り難く、懐かしく、昔を偲んで、拝読致しました。小生も、昔を憶ひ、和歌を詠むで見ました。御笑読の程を。（後略）



敢えて言つ 古里徳が 思ひかな 小さき校庭(にわ)に 我ら羽ばたく	尽きもせぬ 憶ひを持ちし 老いの身の 心の底に 旧き友在り	如何に我 憶ひは果てぬ 学び舎の 共に過ごせし 旧き(ふるき)友どち	懐かしき 憶ひはいとど 身にしみる 誇りを持ちし 青春時代(せいしゅんのとき)	老いぬとて 猶も忘れぬ 憶ひかな 秋冷せまる 富士の夕映え	我だにも 先(まず)は信じる 神風と 思ひし昔し さもあらばあれ	銃(づ)担う 肩に掛かれる 重さかな 醜(し)の御楯と 富士の行軍	熱き日の 日差しに耐えし あの思ひ 汗汗の 軍事訓練	そよ風に 眠気もよほす 昼下がりに 目蒲電車の 音の懐かし	限り無き 思ひを抱く 若き日の 我を憶ひて ひとり微笑む	詰め襟の 服に思ひを 偲ばせて 誇りを胸に 校門くぐる	校章の 光し帽子 戴きて 胸ふくらませ 学び舎仰ぐ
---	-------------------------------------	--	---	-------------------------------------	--	--------------------------------------	----------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------	-----------------------------------	------------------------------

東実一八会

我々18期の同期会です。会員はみんな80歳過ぎなので、少々「へたって」はありますが、毎年2回、集まって、昔話を楽しんでおります。

「横浜、伊勢佐木町の金正堂メガネの清水」、「東京の伊藤勝啓」、「母校の会計監査の笠原」らの幹事を中心に、今年も、来年も、一八会が楽しみです。

昨年（平成20年3月開催）は15人でしたが、今年は何人出席できるでしょうか。



一八会出席者(2008.3.4)

池上線から消えた駅名

「おが なつかしの 慶大武蔵新田グラウンド」



第17期 佐藤 三男

最近、川本三郎さんの『郊外の文学誌』を読んだら、「昭和の初めに目蒲線が開通した直後、作家の宇野浩二、久米正雄さん達は、作家仲間と慶応グラウンドで草野球を楽しんだ。当時の田園調布駅は野中の一軒家で、遥かに見えるグラウンドを目指して、野中の一本道を歩いた」という記事が書いてあった。

慶応グラウンドは武蔵新田駅の辺りにあった。現在でもそうだが田園調布の駅は高台に在り、家並みはまばらで然も低層^{しか}だったとはいえ、「グラウンドが遥かに見えた…」とは、昭和の初め頃、この一帯は郊外どころか、まさに田園地帯だったことが偲ばれる。

当時の私は野球小僧だったので、小学上級生から東実に進学した頃、しばしば、この武蔵新田のグラウンドに通った。当時はまだプロ野球は存在せず、野球といえば東京六大学野球が華の全盛時代であった。

最近のこと、そのグラウンドは武蔵新田の何処にあったのかと訪ねてみた。私の遥かなる記憶では、武蔵新田駅から多摩川に向かった辺りの筈だったので、駅前のコーヒー店のご主人に尋ねたら、ご主人曰く「え、合宿所はありましたよ」とのこと、グラウンドは何処にあったのか、この時点では不明だった。

後日、私の記憶違いだったことが判ったが、更に決定的な資料が見つかり、現在、池上線「池上駅」の次が「千鳥町駅」であるが、大正12年の開設当時は「光明寺駅前駅」であり、昭和の初め、慶応のグラウンドが作られた時に「グラウンド前駅」と改められたことが判った。念のため、昭和7年の地図を見ると「グラウンド前駅」と明記されていた。少年だった私は大体の行動は自転車で、池上線を全く利用していなかったこともあり、これは全く知らなかった。

ともかく、これで所在が判った。つまり、慶応グラウンドは武蔵新田と千鳥町の丁度中間辺り、現在の千鳥町小学校辺りに在った。千鳥町小学校なら、私の現住地から至近距離である。昭和14・15年頃と思われるが、慶大は日吉に移って「グラウンド前駅」は消え、現在の「千鳥町駅」になった。

少年の私は、何日も一塁側のベンチに座って練習を見学していた。これが、私の本格的なベースボールを始めの原点となった。9歳から12歳頃の記憶を思い出すと、史上に残るプレイヤー達、水原茂、山下実、山下好一、宮武三郎ら、慶応黄金時代を作ったプレイヤーが、このグラウンドから育って行った。若かりし彼らが、タンポの畔道を通ったであろう、千鳥町小学校正門辺りに佇み、今は跡形も無き武蔵新田グラウンドを偲ぶのである。

——<余談>——

【ロマンス】 昭和11年まで蒲田にあった松竹撮影所の女優さん達は、武蔵新田グラウンドも近く、人気女優で慶大ファンの田中絹代と水原選手とのロマンスは有名な話し、少年の私が覚えている程だから…。

【水原茂の印象】 昭和12年に後楽園球場が開場され、身近になったので、私は度々観戦した。戦後、水原が東京巨人軍の監督の時、『野球界』という雑誌があって、そのグラビアに学生時代の水原が、上着は黒の学生服、ズボンはグレイの粋な彼が銀座街頭を行く姿を掲載していたのを覚えている。既にスターだった。

余人には、たあいの無い話しだが、過ぎ去った70数年昔、少年だった私にとっては、消しがたい思い出なのである。



昭和六年の下丸子の風景（現在の下丸子三丁目付近）。水田の向こうに、光明寺の林が見える。林の手前に当時の目蒲線の電柱が建っている。



空にはひばり、むぎ畑、目蒲線が一輛、ポツンと寂しげに走っていますね。（佐藤）

「田園調布の春」 藤森静雄画（昭和18年）

佐藤三男 様へ

少年時代慶大グラウンドへ行った。当時、私は鶴の木居住だったので、下丸子経由ですぐに行けた。白木義一郎投手（*慶応商工・慶大のエース、戦後プロのセネターズ・東急で活躍<1946~1952年>、後に参議院議員）がバッティング投手をしていたのを思い出される。

叙勲について (報告)

蛭窓第15回 松永 千里



平成19年5月10日の叙勲で、瑞宝小綬章を受けました。国立劇場大劇場にて伝達式があり、勲章と表彰状を授与されました。

午後二時より、勲章を胸につけ、家内と共に皇居に参内しました。春秋の間で天皇陛下に拝謁、お祝いの言葉をいただきました。その後、お庭で記念撮影をして退出しました。

受章の理由は長年公立高校に勤務し、公立高校長として教育に勤めたというようなことでした。

小生の高校教育の原点は東実にあります。あの当時経済的に恵まれない人々の為に夜間部をつくり、学ぶ場所を与えてくれた、上野熊蔵校長先生の高い教育理念に接し、感動しました。また、簿記を教えて下さった、当時明治大学の応援団長だった、河野一英先生の若き情熱に感謝しました。

お二人とも明治大学の出身者で、小生は明治大学にここがれて入学し、卒業と同時に、高校の教員になりました。東実時代の教えを守り、生徒各自の個性を知り、伸ばすように努力してきたつもりです。それが受章につながったものと確信しています。

母校に、感謝すると共に、益々の発展を心からお祈り申し上げます。

大臣表彰受章

第3代会長(第27期)
渡邊 和彦



平成20年10月7日、第3代会長(平成4年～平成6年)渡邊 和彦氏が「地域にスポーツの普及奨励のための企画又は指導に特に尽力した」ことが認められ、生涯スポーツ功労者として、文部科学大臣表彰を受章されました。(事務局)



物故者

訃報

第五代同窓会長 山本 徳太郎 様(享年77歳)が、平成21年1月12日逝去されました。

ここに、慎んでご冥福をお祈りするとともに、関係者のみなさまにお知らせ致します。

〈山本徳太郎様(23期)は、3期、6年間(平成10年～平成16年)に亘り会長を務め、辞任後も当会の顧問、学校法人上野塾の評議員を務め、同窓会並びに母校の発展に多大なご尽力を賜りました。また、(株)アルベリ(1923年、鶴見に開業した和菓子舗「全機庵」を前身とし、横浜の人々に古くから親しまれてきた洋菓子店)を経営する傍ら、「神奈川県銘菓共励会」第五代会長(平成3年～)を務め、業界の発展に寄与された他、地域振興の推進にも貢献されるなど、広くご活躍されました。〉

卒 期	氏 名	没 年
15期	長嶋 濱夫	平成14年
16期	石渡 二郎	平成19年 11月
16期	大西 恒吉	平成20年 2月
17期	保坂 一郎	平成19年 8月
17期	大野 安枝	平成19年 11月
17期	山形 健二	平成20年 3月
17期	萩原 吉雄	平成20年 3月
17期	高木 稔	平成20年 7月
蛭窓14回	鈴木 芳雄	平成19年 6月
18期	坪井 治	平成20年 4月
18期	青木 良雄	平成20年 3月
18期	縫田 正男	平成17年 11月
18期	野沢 耕一	平成20年 1月
18期	伊藤 勝啓	平成20年 8月
19期	松田 好光	平成20年 5月
20期	廣瀬 大	平成20年 4月
20期	横山 正志	
22期	高場 栄治	平成19年 10月
22期	前田 栄三	平成20年 3月
22期	野村 光男	平成20年 2月
22期	直井 美明	平成17年 3月
蛭窓22回	武井 善一	
25期	武井 宏吉	平成20年 8月
25期	伊藤 芳	平成19年 10月
25期	高橋 正美	平成17年 1月
25期	板谷 良一	平成20年 4月
25期	山田 一男	平成 7年 8月
25期	石黒 信一	平成13年
25期	伊東 鉄男	平成16年 8月
25期	三谷 益司	平成12年 4月
25期	安藤 文雄	
25期	塩沢 義行	
25期	柏木 亭一	
26期	白銀 晃	平成20年 11月
29期	本間 計吾	平成16年 9月
37期	小宮山 忍	平成19年 2月
蛭窓39回	大森 五男	平成20年 10月
49期	細野 清一	平成16年
41期	和田 謙二	平成15年 4月

※「蛭窓」は、定時制卒期です。

お詫び

編集委員の不幸により、No.19号に18期 黒川正義様を記載してしまいました。ここに謹んでお詫び申し上げます。

事務局だより

同窓会行事に参加を！

6月…定期総会 11月…東実祭
 9月…懇親旅行 1月…新年会

同窓会行事は、毎年上記の時期に開催予定となっております。同窓生の方であればどなたでも参加出来ます。お知り合いの先輩・同期・後輩の方にご連絡頂き、お誘い合わせてご参加下さい。

詳細については、事務局にお問い合わせ頂ければ、案内状を送付致します。また、同窓会のホームページでもご案内と、お申し込みが出来ます。

編集後記



会報がお陰さまで20号発行を迎えることが出来ました。平成の時代と共に歩んだとの思いと、やっと一人前に成ったという感じです。この間の皆様のご協力とご支援に会報部一同深く感謝致しております。

平成に入り学校内では部活の輝かしい数々の朗報や教員各位と生徒の様々な努力の結晶や国際交流がありました。景気好調に続くバブル崩壊等、時局の変化があり、また、世界各地での様々な争いや、2008年の米国発の経済混乱は世界各地や日本に大きな影響を与えました。加えて食品の不正表示、輸入食品に対する不安が重なり、景気の低迷が消費の不振を招き、更に家族間の断絶や友人の不信感等暗い感じの時期がありました。しかし、一方で日本の4名の方がノーベル賞に輝かれたことは、日本人の能力が高く評価されたことになり、大きな励みと自信に通じたことと思います。また、若者の社会奉仕や明るい事柄も多くありました。

今我々はエネルギー問題等で、地球に優しい環境を作り子孫に良い物を残すことが大事だと考えます。

校歌にもある「遠つ祖より 受けつぎし 国の使命を果たさなん」のとおり、多くの先輩諸氏の残された教訓、経験を活かし少子高齢化社会に対応出来る必要があります。

本田会長を中心に様々な分野で幅広くより強い絆と信頼を持って「東実精神」の高揚を掲げ一層の発展を望みます。編集担当者は時間の都合を取り合って、より充実した内容の紙面で皆様のご要望とご期待にお応えしたいと努めます。宜しくご声援をお願い申し上げます。

(会報部部員一同)

東実祭に同窓会参加

東実祭が11月8日～9日に開催された。

同窓会も例年の如く、中庭のテントで校章入りのドラ焼きを販売し、完売。売上げ利益を生徒会に寄付した。また、2階教室を借りた同窓会室ではこれまた例年通り、OBの作品展示や卒業アルバムを公開した。

特に今年は、11月8日(土)1時30分より同窓会主催で「激笑 落語会」が開催され、在校生始め他校の女生徒ものぞきに來るなど、30人を超える諸先輩方が集まり、追い出し太鼓が鳴るまで笑いが絶えなかった。

演者と演目

演者	演目
若木家喜楽	真田小僧
料亭彦柳	家見舞
若木家元翁	阿武松

聴衆の声を拾うと、「総会にも呼びなさい」「卒業生にもタレントはいるから呼ぶように」「時間が短い」「来年も来るから…」などなど好評であった。中でも「毎年続けて名物になれば、卒業生達も集まってくるようになるから、東実祭がより一層発展出来るように頑張れ」と、大OBから尻を叩かれる一日でもあった。(企画部)

「同窓会報」送付のご案内

本会報は、卒業されてから3年迄の会員には送付しておりますが、以降は、同窓会役員・同窓会行事出席者・本会報への寄稿者等にしか送付しておりません。

在庫部数に限りがありますが、クラス会・同窓会の開催の際には、事務局にご連絡頂ければ、差し上げます。ご遠慮なく、お申し込み下さい。(事務局)

平成21年度定期総会のお知らせ

日時 平成21年6月6日(土)
 PM3:00～6:00
 場所 プラザ・アペア(蒲田駅南口)
 会費 懇親会費 3,000円
是非ご出席ください。

編集・発行 同窓会会報部

責任者	川邊 國造	協力者	本田 位公子
担当	遠藤 孝一	〃	白田 佳彦
〃	塩野 理二	〃	滝口 房枝
〃	佐藤 まり子	〃	志賀 由直
〃	佐々木 健	事務局	米倉 美鈴